明るい日田

No.1718
発行者
日本共産党
西部地区
委員会
日田市
中城町6-29
☎24-2145
2025年
8月28日

9月議会の補正予算提案される

９月議会に提案された補正予算案は12億7968万円。農地等災害復旧費の専決分9379万円を合計すると13億7347万円の事業費となります。補正の主なものは農業や林業関係、市道や河川等の災害復旧、またバイオマス資源化センターの廃止に伴う養豚業者の施設整備に対する支援、高齢者世帯のエアコン購入支援などです。

事　業	補正額（千円）	事　業　概　要
農地及び施設の災害復旧（専決予算と補正予算併せて）	104,222	大雨により被災した農地・農業用施設の災害復旧（市単小災害や今後の見込も含む）。農地100件、施設90件（令和5年災害復旧も含む）
林地及び施設の災害復旧（補正予算）	202,581	林地・林道の災害復旧（見込も含む）30路線（令和5年災害復旧も含む）
公共土木施設災害復旧	189,650	道路83件、河川45件（見込も含む）（令和5年災害復旧分も含む）
高齢者エアコン設置支援事業	30,562	高齢者の熱中症による健康被害防止及び物価高騰対策として、家庭用エアコンがない住宅に居住する高齢者のいる非課税世帯に対し、エアコンの購入及び設置にかかる費用の一部を助成する 補助額の上限は9万円、補助率は90％
養豚環境施設施設整備事業	641,595	バイオマス資源化センターの廃止に伴い、個別処理施設が必要となる養豚事業者の施設整備に対して補助
石井工業団地排水ポンプ整備事業	66,124	国との河川占用協議に基づく工法変更及び物価高騰に伴う増額補正
学校給食センター大規模設備更新事業	30,800	学校給食センターの設備について、修繕料及び更新工事費の増額補正

市議会と市民が意見交換会

議員定数・議員報酬を考える

23日、日田市議会は、アオーゼ会場で「住みよい日田市」と「議会のいま」を考えるとして、議員定数や議員報酬について、市民から意見を聞きました。

当日は、廣瀬行政研究所の廣瀬和彦氏を講師に議会と議員の役割、多様性ある議会を構成するための議員定数と報酬について、質疑応答も入れ1時間半講演が行われました。

（廣瀬氏の講演）

講演の参加者は高校生から80代まで各種団体などから約80名以上が参加していました。

講演の後は、参加者が8班に分かれてグループワークで意見交換。多面的で様々な意見が出されました。その後、班ごとに発表して行きます。

（グループワークで）

「議員になるために何が必要か」については、体が健康であることや信念・資質、教養や知識、地域の課題をよく知るなど。また資金、支援者、家族の同意などが出されました。議員定数については「20名ぐらい」「現状でいい」「多いほうがいい」「もっと女性が参加するために女性枠はどうか」などです。「4人減らして報酬を上げたらどうか」の意見も。また議員報酬は「現状でいい、何故なら議員が何をしている分からないから、分かればあげてもいい」という班からの発言も。市議会は市民の意見を踏まえながら、今後特別委員会等で検討していくとしています

（各班からの発表）